

三菱総合研究所でのインターンシップを終えて

物理学専攻 博士2年 武田 紘樹

2019年12月9日から12月20日までの二週間、三菱総合研究所の冬季インターンシップに参加しました。三菱総合研究所は、科学技術に強いという特徴を持つ総合シンクタンクです。

今回のシンクタンク部門インターンシップでは、環境・エネルギー事業本部、電力ビジネス推進グループに配属され、発電所稼働状況データの解析・活用方法検討を行いました。普段用いているデータとは異なり、日時、気候、季節や社会活動など、電力需要や供給量は人為的なものを含む様々な要因に依存するため、どのようにデータにアプローチするかが難しかったです。しかし、これまで身につけてきた解析手法等を駆使して、社員の方々に面白いと言ってもらえるようなことを発見できたのは非常に嬉しく、研究で習得してきたことが社会という場においても役立てられる可能性を実感することができました。

インターンシップに参加した動機は、当然のように学術研究の道に進む人達に囲まれている環境に身を置いているため、自らの進路選択に際して理学的素養を社会においてどのように発揮できるのかを体感したいというものでした。博士修了者を含む多くの理系出身の社員の方々が社会課題を解決すべく働く場に身を置けたことは非常に貴重な体験だったと感じています。

最後になりましたが、研究指導から博士終了後の進路相談まで大変親身になって指導して頂いた村上さん荒生さんをはじめとする三菱総合研究所、環境・エネルギー事業本部、電力ビジネス推進グループの皆様には心から感謝の意を表します。また、インターンシップ参加を快く承諾して下さった、指導教員の安東先生、副指導教員の古澤先生にも深く感謝申し上げます。